

平成 28 年度実施事業行政評価に係る外部評価 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	平成 28 年度実施事業行政評価に係る外部評価⑤ 「高齢者福祉事業」【長寿課】
開催日時	平成 29 年 8 月 3 日（木）午前 9 時 35 分から 10 時 45 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7・8 会議室
出席者氏名 （敬称略）	外部評価委員（長久手市行政改革推進委員） 副会長 中島 美幸 委員 樋口 和則 委員 森田 直美 委員 山口 秋男 委員 島田 智子 担当課 福祉部次長 成瀬 拓 福祉部次長兼長寿課長 中野 智夫 長寿課課長補佐 伊藤 愁 事務局 総務部長 青山 均 行政課長 飯島 淳 行政課課長補佐 児玉 剛 同主任 加藤 優作
傍聴者人数	4 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価委員の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・長久手市は今は若いまちだが、今後高齢者の増加率が急速に上がり激変することが予想されるため、それに向けた対応として、市民が支え合うワンコインサービスなどに移行していくビジョンをたてられていることがわかった ・制度（新しい総合事業）について、一般市民は知らないと思うので、さらなる周知に努めること ・周知については、出先機関や民間施設（ショッピングセンター等）をうまく利用すること ・周知の一つとして、市のホームページを親しみやすいものにする こと（噛み砕きわかりやすいものにする） ・事務事業⑨「在宅医療介護連携事業」について、大事な事務事業であり、仕組みが構築途中のため、「現状維持」ではなく「拡充」である（内部評価が甘い）
----------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・電子連絡帳は素晴らしいシステムなのに扱いが軽いように感じる (もったいない。家族も利用できるようにするとよい。) ・高齢化に伴い予算は増えていくと思うので、「助けがなかったら生きていけない人」と「自主自立でやっていける人」を分けて考えていくことは英断（決断が必要）（予算、人員配置、組織等もそれにあわせていくことも必要。予算には限りがある。) ・高齢者福祉に関しては、より他部署との連携が必要 ・市民も受益者負担が増えていくことを覚悟しなければならない
--	--

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからより重要になり、住民ニーズも増えていく事業のため、これまで以上に尽力すること ・市民も高齢福祉に関する問題を認識し、ともに取り組んでいくため、情報公開及び共有を図るなど、市民への働きかけを行うこと ・事業は拡大していくと思うので、支援体制の充実も図ること
---------------	--